



# 令和8年度 越谷市立西中学校 学校経営方針

越谷市立西中学校長

## 1 学校経営の基本理念「すべては西中生のために」

教育の目的は、教育基本法において「人格の完成」、「平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成」と規定されており、これらは将来の予測が困難な時代においても変わることのない普遍的なものである。

変化の激しい社会において、生徒一人一人が将来にわたって豊かな人生を送り、持続可能な社会の創り手となるためには、学校教育において、誰一人取り残すことなく知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」の基盤を育むとともに、「未来の創り手となるために必要な資質・能力」を育成することが重要である。本校では「子供は地域の宝」「学校は子供たちのためである」ととらえ、「すべては西中生のために」という基本理念のもと、以下のとおり学校経営方針を定める。

- 一人一人の生徒を大切にし、誰一人取り残さない学校経営を推進する。
- 生徒の「よさ」を伸ばし、生徒一人一人を活かす教育活動を展開する。
- 安全・安心な環境で、確かな学力、豊かな心、たくましい体の育成を推進する。
- 次代を担う人材の育成と、その重責を自覚して教育活動を推進する。
- 学び続ける教師として、専門職としての研修に励み、教育力を高める。
- 学校・家庭・地域・関係機関との信頼の絆を深め、教育活動の協働連携を推進する。

## 2 学校教育目標

自ら求めて学び、共に高めあう学校

～自分の「よさ」を自覚し、常に挑戦し続ける 心豊かでたくましい生徒の育成～  
生徒行動目標「感じて、考え、行動する」

## 3 合い言葉

「西中プライド」「チーム西中」～西中に愛と誇りを！～

生徒たちが「通えてよかった」、保護者が「通わせてよかった」、教職員が「働けてよかった」、地域・学校関係者が「関わられてよかった」と思える「西中プライド」が溢れる教育活動を、学校・家庭・地域が連携協働し「チーム西中」として展開する。

## 4 目指す学校像・生徒像・教師像

### 目指す学校像

一人一人の生徒を大切にし、誰一人取り残さない学校

- ① 育てる学校：夢、希望、友情を大きく育て、実現する力を育てる学校
- ② 高める学校：共に学びあい、確かな学力と自立する力を育成する学校
- ③ 楽しい学校：共感的人間関係と活躍の場があり、自己肯定感の高揚を図る学校
- ④ 安全な学校：人権感覚の育成を図り、自他の生命を尊重する安全・安心な学校
- ⑤ 伸ばす学校：個々の「よさ」に着目し、認め、伸ばす学校

### 目指す生徒像

自分の「よさ」を自覚し、常に挑戦し続ける 心豊かでたくましい生徒

- ① 自ら学ぶ生徒：自ら進んで学び、夢や希望に向かって努力する生徒
- ② 心豊かで思いやりのある生徒：多様な価値観を尊重し、自他の「よさ」を認めあう生徒
- ③ 誠実な生徒：礼儀正しく、明るいあいさつができ、規律を守る誠実な生徒
- ④ 感動する生徒：伝統や文化を大切に、美しいものに感動する生徒
- ⑤ 心身ともにたくましい生徒：何事にもくじけない強い意志をもち、粘り強く心身を鍛える生徒

## 目指す教師像

### 一人一人の生徒を大切に、使命感をもつ教師

- ① 生徒を大切にできる教師: 生徒の声に耳を傾け、生徒とともに考える教師
- ② 人間性豊かな教師: 幅広い教養と温かな人間性を備えた魅力ある教師
- ③ 授業で勝負する教師: 専門職としての研修に努め、教育者として学び続ける教師
- ④ 使命感をもつ教師: 時代を担う人材育成とその重責を自覚し、教育活動を推進する教師
- ⑤ 生き方を考え、努力する教師: 熱意・創意・誠意をもって迅速に対応する教師

## 5 本年度の重点・努力点

### (1) 開かれた学年・学級経営と充実

- ・学校教育目標の実現をめざす経営の工夫
- ・生徒一人一人の居場所があり、望ましい人間関係で結ばれた学級経営の実現
- ・生徒自身が具体的な目標設定を行い、定期的な振り返りで伸びを実感できる工夫
- ・学年職員が一体となった学年経営の推進

### (2) 一人一人を確実に伸ばし、学ぶ楽しさを味わえる学習指導の充実

- ・「わくわく感のある授業づくり」の実現…越谷市授業における8つのポイントの活用
- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
- ・学習規律の確立と維持、向上
- ・生徒のよさを生かす指導法と評価の工夫
- ・ICTを活用した授業づくりの実践
- ・教師の指導力向上を図る校内研修の充実

### (3) 豊かな心をはぐくむ道徳教育の充実

- ・道徳の時間を核とした全教育活動を通じた道徳教育の充実
- ・自己の生き方についての考え、議論する道徳科の指導法の工夫改善
- ・道徳的実践の場として、特別活動との関連を図った取組の推進

### (4) 自己有用感と達成感を味わわせる特別活動の充実

- ・各活動や学校行事を通して自主的・実践的な態度や豊かな人間関係と個性の伸長を図る工夫
- ・学級活動、生徒会活動における話し合い活動と実践活動の活性化
- ・集団の一員としての役割や責任感を醸成する専門委員会活動やボランティア活動の推進

### (5) 健やかでたくましい体を育む教育の推進

- ・保健体育授業を中心とした、基礎体力の育成と体力向上の取組の充実
- ・生涯体育の発想による運動習慣の定着・援助の工夫
- ・心身の健康・安全についての理解と実践力の醸成

### (6) 信頼関係に基づく積極的な生徒指導の充実

- ・生徒指導体制等の共通理解と共通行動の徹底
- ・校内生徒指導・教育相談体制の連携と充実
- ・生徒と教師間の強い信頼感に基づく生徒指導の実現
- ・生徒の「よさ」を認め、自己肯定感を高める働きかけの強化
- ・いじめ防止基本方針に則った取組の推進

### (7) 共感的人間関係に基づく教育相談の充実

- ・教育相談部会、スクールカウンセラー、学校相談員の連携による組織的対応の充実
- ・不登校生徒や長欠生徒への支援の充実

・小学校、相談機関、関係機関とのさらなる連携強化

(8) 自分を見つめ、生き方を学ぶ進路指導・キャリア教育の充実

- ・生徒一人一人の理解に基づき、個々を伸ばし「生き方」「人生設計」を見通した適切な進路指導の実現
- ・発達段階、能力、適性、興味関心を考慮し、目的意識をもたせ、三年間を見通した計画的、段階的な進路指導の構築と実践

(9) 社会的自立を目指す特別支援教育の推進

- ・特別支援教育に対する全職員の正しい理解と相互協力
- ・通常の学級における特別支援教育の推進
- ・支援籍交流等、交流教育のさらなる充実

(10) 人権感覚の育成を図る人権教育の充実

- ・人間愛、人権尊重の意識を高め、同和問題をはじめとしたあらゆる人権問題の理解促進
- ・いじめや差別、暴力を許さない心の育成
- ・自他の生命を大切にす意識の醸成

(11) 健康・安全教育の推進

- ・健康的な食習慣を形成する食育の推進
- ・保健衛生・性に関する指導の充実
- ・交通安全・災害安全(防災減災教育等)の推進
- ・確実な点検・迅速な営繕による安全な教室環境の確保

(12) 環境教育の充実と教育環境の整備

- ・環境教育全体計画・年間指導計画に基づく環境教育の着実な実践
- ・花と緑と作品であふれ、潤いのある学級・教育環境づくりの実践
- ・心を育てる校内掲示の工夫・充実
- ・清掃活動の活性化による清潔な環境づくりと奉仕の心の育成

(13) 情報化に対応する ICT の積極的な活用

- ・授業等における ICT の積極的な活用
- ・情報の取捨選択能力の育成と情報モラルの理解促進
- ・生徒会連合会発案のケータイ・スマホ「共有ルール」の活用・周知

(14) 主体的・探求的な学びの中核となる学校図書館教育の推進

- ・司書教諭、学校司書との連携による読書活動の活性化
- ・読書・学習・情報センターとしての機能の充実

(15) 国際化に対応する国際理解教育の充実

- ・外国語によるコミュニケーション能力の育成
- ・教科等を通じた自国や外国の文化・伝統についての理解促進
- ・国際感覚の育成と、国際交流等の親善活動の促進

(16) 小中一貫教育の推進

- ・第2期小中一貫教育の成果と課題をふまえた第3期小中一貫教育の体制づくり
- ・学力向上、自己肯定感の高揚、学校生活充実感の高揚
- ・わくわく感のある授業、生徒指導実践上の4つの視点、4-3-2制を意識した指導法や活動内

## 容の検討

### (17) 家庭・地域との協働連携による「開かれた学校」の推進

- ・学校運営協議会の充実…定期的な開催、委員との協議・熟議による学校課題の解決
- ・積極的な授業公開等、保護者会・学級懇談会の工夫改善
- ・小・中連携の一層の推進（児童・生徒交流活動、合同研修会、相互授業公開等）
- ・教師と保護者の信頼関係づくりの努力と工夫
- ・学校だより、学年・学級通信、学校HPの充実
- ・学校応援団活動の推進
- ・PTA活動の活性化への支援と協力

### (18) 教職員の働き方改革の推進

- ・限られた時間の中で最善の教育活動、教材の共有化、会議の効率化
- ・ワーク・ライフバランスの実現
- ・学校衛生推進委員会の開催等、ボトムアップでの取組推進